

# 枚岡合金工具株式会社



「デジタル文書管理システム」

## こだわりと独自性のオープン経営

枚岡合金工具が月3回開催する工場見学会は、3か月先まで予約でいっぱいだ。今までに200回近くの見学会を実施、のべ1400社4000人を超える人が来場している（平成20年11月現在）。一体、何がこれほどまでに多くの人を惹きつけるのだろうか。

枚岡合金工具は、戦後、金型を作る町工場としてスタート。冷間鍛造金型の設計や製作を行っている。関西空港の管制塔に使用されるハイ

テンションボルトの金型製造を担い、空港を支えるプロジェクトとして参画。また自動車の保安部品に使われる等、現代社会の中で重要な位置を占める部品の製造を行っているのだ。大手メーカーに納入されるこれらの部品は、100万回に1回の失敗も許されない厳しいものだという。一方では米粒の半分の大きさにロゴマークを入れる金型の製造等、顧客の要望にも応えている。同社の超硬合金での超仕上げ加工は、表面粗さRy0・54μmを実現、また超硬合金でのワイヤーカット処理加工は、表面粗さRy1・43μmを可能にし、その精度の高さや耐久性が多くの企業から信頼を得ている。

「品質管理に厳しい大手企業に引き上げられてきました」と古芝保治社長は謙虚に語る。いい製品を作るこだわりはあったものの、同社もバブル崩壊後には、売り上げが低迷。その窮地を救ったのが3S活動だ。

## 新しいものづくりの形を発信

同社が3S（整理・整頓・清掃）活動を始めたのは、平成11年。不要品の廃棄、清掃、塗装と50年間溜まったゴミと汚れを自分たちの手できれいにしていた。工具や事務用品等はすべて定位置に表示・保管し、通路を確保することで作業効率がアップ、それまで物探しに一人1日30分も費やしていた時間が、わずか数秒に短縮できたという。だが、この3Sで得られたものは効率面だけではない、と古芝社長は言う。

「何よりも愛社精神が高くなりました。コミュニケーションが生まれ、助け合いや前向きに取り組む風風が生まれたのです。ゴミが集まるころには汚いものが、きれいな環境にはプラスのエネルギが集まることを実感しました」。社長も社員と一緒に頑張って雑巾掛けをする。

同社では物の3S、場所の3S、心の3Sだけでなく情報の3Sにも取り組み、大きな成果を上げている。これは、パソコン好きの社長が考案した「デジタル文書管理システム」（特

# 「現場の3S」で 会社変革



た」と古芝保治社長は謙虚に語る。いい製品を作るこだわりはあったものの、同社もバブル崩壊後には、売り上げが低迷。その窮地を救ったのが3S活動だ。

枚岡合金工具株式会社

Company Profile

住所 / 〒543-0042

大阪府大阪市天王寺区烏ヶ辻2-1-2

創業 / 昭和24年3月

設立 / 昭和25年4月

資本金 / 1,000万円

従業員 / 26名（平成21年1月現在）

T E L / 06-6772-2021

F A X / 06-6770-2253

ISO 9001

関西  
20

大阪  
16

<http://www.digitaldolphins.jp/>



古芝保治さん  
代表取締役

## 主な事業内容

冷間鍛造金型、ボルト・パーツフォーマー金型の設計・製作、デジタル統合文書管理システムの開発、3S活動・IT経営コンサルティング

許出願済）で、欲しい情報がいつでもすぐに取り出せるものだ。同社は、会社をオープンにするだけでなく、このシステムを他社にも提供し、ITコンサルティングとしての業務にも力を入れている。「売って終わりではなく、3Sを通した企業文化を発信し、ものづくりの底辺を底上げしたい」と熱く語る古芝社長。

今、新しいものづくりのあり方を提案し、イノベーションを起こそうとしている。